

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	人形芝居「切竹紋次人形」再興事業
事業主体 (連絡先)	中川人形保存会 (中川村公民館)
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,201,529円 (うち支援金: 819,000円)

事業内容

- ・伊那谷の人形芝居に携わっている講師を招き、人形の動き、三味線、義太夫についての実技指導を受けることで、基礎技能の習得を目指している。
- ・取り組みの成果の発表と、伝統ある人形浄瑠璃を多くの人に知ってもらい、村の文化財産として継承していくため、3月には今年度の練習成果を披露する公演を行った。また、今年度から中川西小学校「中川人形クラブ」の指導にあたり、人形浄瑠璃を伝承していく活動を行っている。



発表会「西小人形クラブ成果報告」

【目標・ねらい】

- ①地域に眠る資源の掘り起こしを行い、地域の活性化につなげる。
- ②地域の人々が大切にしてきた文化を受け継ぎ、後世に伝え、村の誇りとしていく。
- ③子どもたちが村の郷土芸能に触れ、学習する機会を通して、郷土愛を育み、村への誇りを持ってもらう。
- ④世田谷区など人形芝居を通じた人・物などの新たなつながりを築く取り組みに拡げていく。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・村にかつてあった人形浄瑠璃を講義や舞台研修等を通して学習し、その文化が地域にどのように根付き、また人々の暮らしとどのように結びついてきたかを学び、これからの地域づくり・活性化の一助となった。
- ・公民館講座と共催とすることで、広く住民に参加を呼びかけ、人形の演者以外にも大道具や衣装等の制作、三味線や義太夫(語り)への参加など、地域住民が繋がる場とし、地域の連帯と活性化を図った。
- ・定期発表会、また各地での事例発表を通して、かつて中川村に人形芝居(浄瑠璃)があったことを村内外の皆さんに伝え、理解を深めていただいた。
- ・また、小学生への人形浄瑠璃実技指導を通して、地域の伝統文化としてこれからも次世代へ繋げていくための、具体的な第一歩を踏み出す事が出来た。

※自己評価【A】

【理由】
目標・ねらいに掲げる項目について具体的取り組みができ、着実に文化が浸透してきているため

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

3月の定期公演では、戦時中の疎開のお礼に人形の首を贈って頂いた東京都世田谷区の関係者も訪れた。今後も文化を通じた交流を図り、人形芝居に関係する人・物などの新たなつながりを築く取り組みに拡げていきたい。また、小中学生を中心とした子どもたちに人形浄瑠璃を伝えていく活動を引き続き行ない、伝統文化を通して若者がこれからも住み続けたいと思える村づくりの一助としたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある